

ライセンス期間とソフトウェアの関係について

ソフトウェアを使用するためにはライセンスが必要です。

ライセンスは「ライセンス・ツール」を使用して取得します(※1)。ライセンス取得の詳細につきましては、ソフトウェアに収録されている「ライセンス・ツール・マニュアル」をご参照ください。

※1： 製品ご購入時には、無償ライセンスが付与されています。
このライセンスを、ライセンス・ツールを使用して取得(有効化)します。

また、ライセンスには有効期間があります。

ライセンス期間内であれば、PALMiCE、CodeRecorder、C-Shark の場合は最新ソフトウェアが、FP-30 の場合は最新サポート・デバイスを使用する事ができます

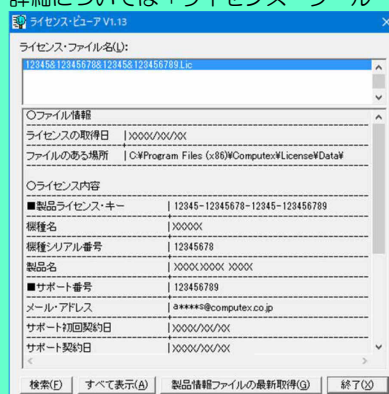
なお、FP-40・FP-10 の場合は「ライセンス期間」ではなく「ライセンス登録日」が基準となります。ライセンス登録日時点でリリースされているソフトウェアバージョンに対応したデバイスを使用する事ができます。

詳細について、次ページ以降で説明します。



ライセンス期間を確認するには？

ライセンス期間はライセンス・ビューアで確認する事ができます。
詳細については「ライセンス・ツール・マニュアル」をご参照ください



ライセンス・ビューア・ウィンドウ

PALMiCE、CodeRecorder、C-Shark の場合

ライセンス期間終了日までにリリースされたすべてのバージョンのソフトウェアを使用する事ができます。

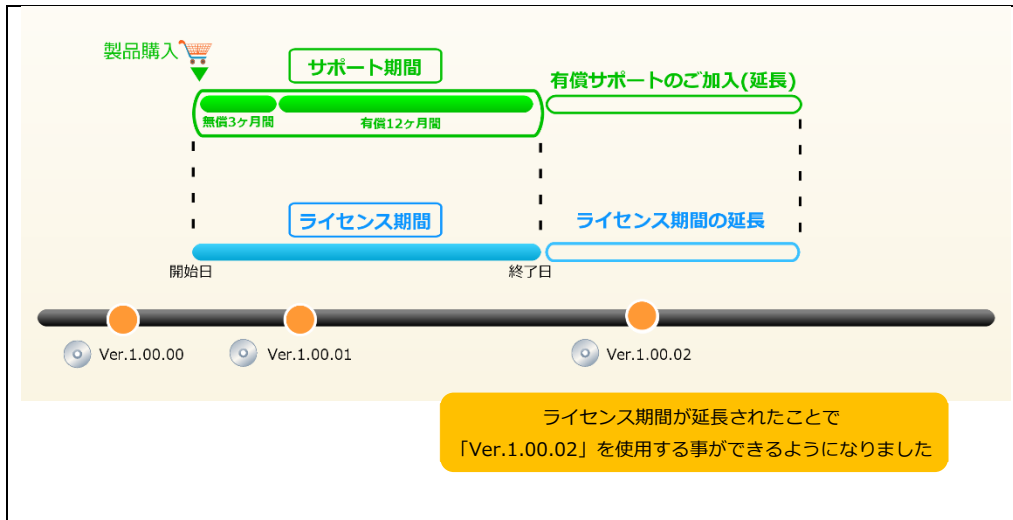
ライセンス期間が終了した場合、ダウンロードサイトで最新バージョンのソフトウェアをダウンロードしても、使用する事ができません。

例えば、下図の場合「Ver.1.00.01」以前のすべてのバージョンのソフトウェアは使用することができますが、ライセンス期間終了後にリリースされた「Ver.1.00.02」以降のバージョンのソフトウェアは使用することができません。



但し、ライセンス期間を延長すれば使用する事ができます。

ライセンス期間は、有償の年間サポートにご加入いただく事で延長することができます。



ユーザ・サポート制度について

この制度は、サポート期間内に、製品の技術的なお問合せとライセンス付与により最新のソフトウェアのご使用ができるものです。製品のご購入時にはユーザ・サポート制度の無償サポート期間が付いています。無償サポート期間はご購入日から3ヶ月間です。また、有償の1年間のサポート期間を追加することが可能です。詳細については当社ホームページをご覧ください。

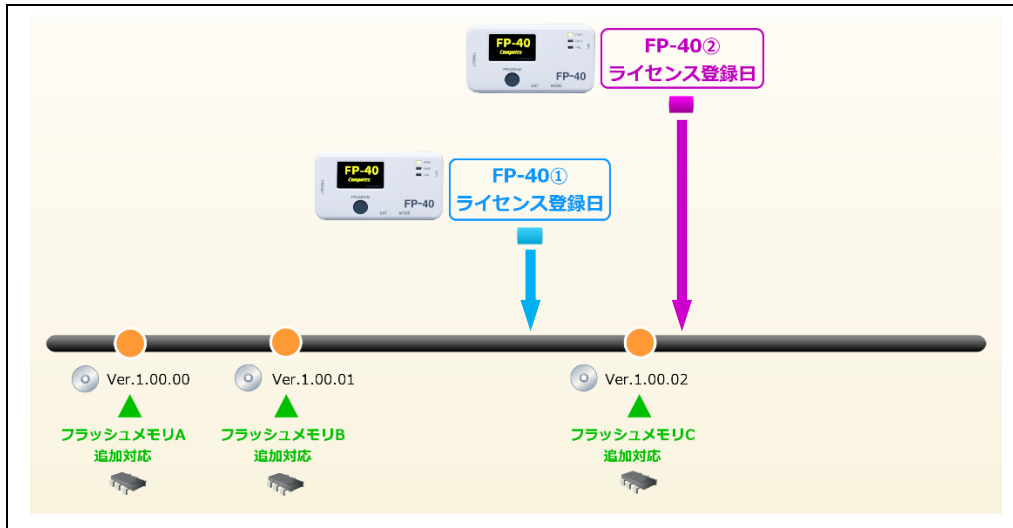
●ユーザ・サポート制度について

<https://www.computex.co.jp/support/sp/sp.htm>

FP-40、FP-10 の場合

ソフトウェアのバージョンアップは、ライセンスの登録日とは関係なく常に行う事ができます。
 ただし、サポートされるデバイスはソフトウェアのバージョンの他にライセンスの登録日によって決まります。
 使用可能なデバイスについて、FP-40 を例に説明します。(FP-10 をご使用の方も同様にご覧ください。)

- ・ FP-40① : 「フラッシュメモリ A」「フラッシュメモリ B」
- ・ FP-40② : 「フラッシュメモリ A」「フラッシュメモリ B」「フラッシュメモリ C」



ソフトウェアバージョン	1.00.00	1.00.01	1.00.02
追加対応されたデバイス	フラッシュメモリ A	フラッシュメモリ B	フラッシュメモリ C
FP-40① ライセンス登録日	使用可能	使用可能	使用不可 ライセンス登録日以降にリリース ※バージョンアップを行っても使用不可
FP-40② ライセンス登録日	使用可能	使用可能	使用可能

FP-40①ライセンス登録日の場合、既にリリースされていた、C-Flash Ver.1.00.00 と Ver.1.00.01 で対応されている、フラッシュメモリ A と B を使用する事ができます。
 フラッシュメモリ C については、ライセンス登録日以降に対応されたため、C-Flash を Ver.1.00.02 にバージョンアップしても使用することはできません。

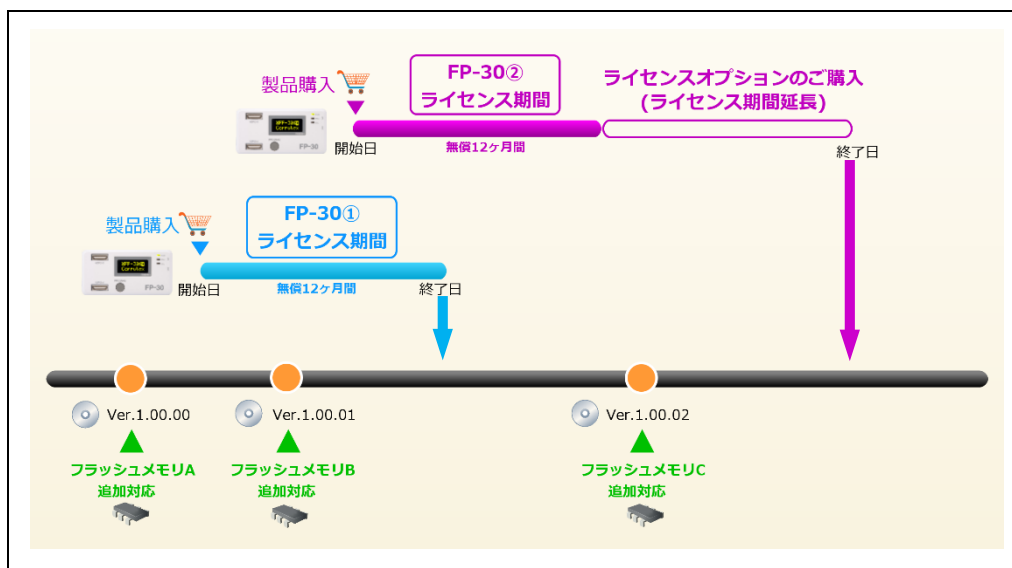
FP-40②ライセンス登録日の場合、既にリリースされていた、C-Flash Ver.1.00.00 と Ver.1.00.01、Ver.1.00.02 で対応されている、フラッシュメモリ A と B と C を使用する事ができます。

CPU アップデート・ライセンスを購入していただき、登録することで、ライセンス登録日が更新されますので、使用できなかったデバイスを使用する事ができます。

FP-30 の場合

ソフトウェアのバージョンアップは、ライセンスの有効期間とは関係なく常に行う事ができます。
 ただし、サポートされるデバイスはソフトウェアのバージョンの他にライセンスの有効期間によって決まります。
 FP-30 は製品購入時に無償 12 ヶ月間のライセンスが付与されています。
 例えば、下図の場合、使用可能なデバイスはそれぞれ以下のとおりです。

- ・FP-30①：「フラッシュメモリ A」「フラッシュメモリ B」
- ・FP-30②：「フラッシュメモリ A」「フラッシュメモリ B」「フラッシュメモリ C」



ソフトウェアバージョン	1.00.00	1.00.01	1.00.02
追加対応されたデバイス	フラッシュメモリ A	フラッシュメモリ B	フラッシュメモリ C
FP-30① ライセンス期間	使用可能 ソフトウェア使用開始	使用可能 バージョンアップ	使用不可 ライセンスの期限切れ ※バージョンアップを行っても使用不可
FP-30② ライセンス期間	使用可能 ソフトウェア使用開始前	使用可能 ソフトウェア使用開始	使用可能 バージョンアップとライセンス期間延長

FP-30①ライセンス期間の場合、使用開始時の C-Flash Ver.1.00.00 で、フラッシュメモリ A を使用する事ができます。ライセンス期間内に C-Flash が Ver.1.00.01 にバージョンアップされ、その際にフラッシュメモリ B の追加対応が行われました。C-Flash のバージョンアップを行う事でフラッシュメモリ B を使用する事ができます。フラッシュメモリ C については、ライセンス期間終了後に対応されたため、C-Flash を Ver.1.00.02 にバージョンアップしても使用することはできません。

FP-30②ライセンス期間の場合、使用開始時の C-Flash Ver.1.00.01 で、フラッシュメモリ A および、フラッシュメモリ B を使用する事ができます。その後、C-Flash が Ver.1.00.02 にバージョンアップされ、その際にフラッシュメモリ C の追加対応が行われました。ライセンス期間の延長と C-Flash のバージョンアップを行う事でフラッシュメモリ C を使用する事ができます。

このように、ライセンス期間を延長していただく事でライセンス期限切れにより使用できなかったデバイスを使用する事ができます。 期間の延長はライセンスオプションを購入していただく事で行う事ができます。

Computex[®]

株式会社コンピューテックス

本社

〒605-0846 京都市東山区五条橋東 4-432-13 對嵐坊ビル

CM1918(B)2306

Copyright (C)2023 株式会社コンピューテックス
